| 校訓 | 真 善 美 | 平成29年度学校だより<br>「荒中だより」<br>第25号 | 発行日 | 平成29年11月13日 |
|---|---|---|---|---|
| 教育目標 | 自主、自立、感謝の精神を抱き、<br>未来を拓く生徒の育成<br>-豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる- | | 発行者 | 伊丹市立荒牧中学校<br>校長　難波 重之 |

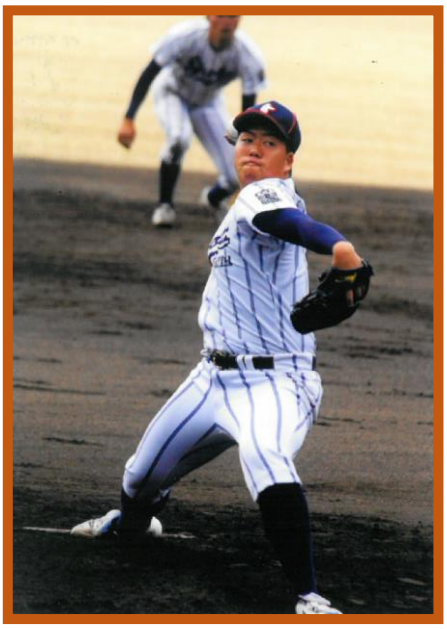

## 頑張れ卒業生！！

１０月２６日(木)、**プロ野球の新人選手選択会議、いわゆるドラフト会議**が行われました。すでに知っている人もいると思いますが、本校を**平成２３年３月に卒業した蔵本治孝(くらもとはるたか)君が東京ヤクルトスワローズの３位指名**を受けました。

蔵本君は小学校２年生から野球を始め、３年生から６年生までピッチャーを務めていました。中学校進学と同時に、硬式野球チームに所属し、ピッチャーとして活躍しましたが、肘(ひじ)を痛めエースにはなれなかったそうです。

荒中を卒業後、神戸国際大学附属高校に進学しました。ピッチャーとして頑張るつもりでしたが、１年生の冬に再び肘を痛め、その後は外野手として練習に励みました。高校では公式戦のメンバーに選ばれなかったのですが、**「大学ではピッチャーとして復活する」という気持ちを持ち続けた**そうです。

大学は岡山商科大学に進学し、１年生の秋からピッチャーとして公式戦に出場しました。２年春、２年秋と順調に公式戦に出場していましたが、再び古傷の右肘が痛み出しました。そこで、２年秋のシーズン終了後、蔵本君は将来のことを考え、肘の手術を受けることを決心しました。手術後、３年生の１年間の練習は、復帰に向けてのリハビリ、走り込み、筋力トレーニングばかりでした。公式戦も１年間ベンチに入れず、スタンドでの応援役でした。その間も、**「来年はこのマウンドに立つ」と強く思っていた**そうです。



我慢の１年間が過ぎ、４年生の春に復活しました。春の公式戦で３勝を挙げ、神宮(じんぐう)大会(全国大会)に出場しました。神宮大会で活躍する姿がスカウトの目にとまった

のでしょう。

蔵本君の野球人生は決して順風満帆（じゅんぷうまんぱん）ではないのですが、**「決して諦めない強い気持ち」**や**「目標に向けて努力し続けたこと」**が、今回のドラフト指名につながったのだと思います。

先日蔵本君が荒中に挨拶（あいさつ）に来たとき、校長室前の部活掲示板に書いてある**『華咲（はなさ）く樹（き）より大地に根を張る草になりたい』**を見て、「これは自分のことや！」と言っていました。プロ野球でも困難が待ち受けているかもしれませんが、きっと蔵本君なら乗り越えてくれると思っています。頑張れ卒業生！！ 頑張れ蔵本治孝君！！

（文責　髙木　匡）

## 研究発表会があります

１１月２０日（月）、授業改善の成果を発表する研究発表会を行います。本校は、授業の中での言語活動の充実を目指し、『協同学習』に取り組んできました。その取り組みを、国語（二宮先生　１年２組）、理科（相馬先生　２年４組）、社会（三木先生　３年４組）の研究授業という形で発表します。

## きらめけ!!荒中生!!



**バドミントン（阪神新人大会　10/28　緑ケ丘体育館）**

**男子団体　準優勝**

**２回戦 対山口(2-1)　決勝 対常陽(0-2)　２位決定戦 対伊丹東(2-1)**

**シングルス ３位　山内育海**

**ソフトボール（阪神新人大会　11/3･4　中央中・大社中）**

**優勝　１回戦 対瓦木(7-0)　２回戦 対武庫東(6-6 抽選勝)**

**準決勝 対大社・浜脇(7-2)　決勝 対中央(12-5)**

**＊ソフトボールは松崎中との合同チームです**

## 自信と誇りを持てる学校を創ろう!!